

第110回 生存圏シンポジウム

—産学官の知識・技術の融合を目指して—

昨年実施した Part.1 に引き続き、若手研究者を主体としたシンポジウムを開催する。

今回は、大学・公的研究機関と民間との知識・技術の融合と問題点の共有を目指し、経験豊富な研究者・技術者に過去の共同研究事例や産学官連携研究の利点などを講演していただくと共に、今後の課題や問題点などについてディスカッションを行う。

木質材料及び木質構造のこれからを考える若手の会 Part.2

Program

13:00 開会挨拶 青木謙治 ((独) 森林総合研究所)

13:15 基調講演 稲山正弘 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
「産学官連携研究のポイント」

14:15 休憩

14:30 一般講演① 梶川久光 (ミサワホーム株式会社)
「ミサワホームにおける産学連携研究開発と商品化」

15:00 一般講演② 西岡久寛 (コシイプレザービング株式会社)
「保存処理技術における産学協同開発事例とその実用化」

15:30 一般講演③ 原田浩司 (ウッドストック技術士事務所)
「木質建材開発における産学官連携事業の課題」

16:00 一般講演④ 相馬智明 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
「産学官連携研究を進めるにあたって」

16:30 ディスカッション 司会/森 拓郎 (京大大学生存圏研究所)
清水秀丸 ((独) 防災科学技術研究所)

17:30 閉会

18:00 討論会 : 会費 : 3,000 円 (学生 1,000 円)
・参加希望者は下記の連絡先までご連絡ください。

2008 年 12 月 16 日 (火)

東京大学 弥生講堂 ANNEX セイホクギャラリー
参加条件 : 木質構造研究・実務に携わる若手の方

・東京大学大学院農学生命科学研究科
生物材料科学専攻木質材料学研究室
東京都文京区弥生 1-1-1
・相馬智明 Tel: 03-5841-7517
asoma@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp